



瀬瀬走る やまめうぐひの

うろくずの美しき春の山ざくら花

牧水

坪谷路を駆ける

今年でちょうど20回目となる牧水ロードレース大会が、牧水公園周辺で開催されました。

大会当日は風もなく絶好のコンディション、約三百名の選手たちが、早春の坪谷路を駆け抜けました。(3ページに関連記事)



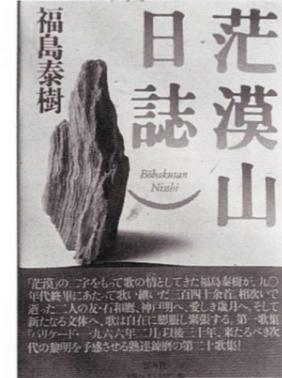
人口 5,337人 (2)
 男 2,497人 (0)
 女 2,840人 (Δ2)
 世帯数 1,749戸 (Δ2)

平成12年2月1日現在
() は対前月比



牧水、そして故高森文夫氏への 思いを語る(第4回若山牧水賞受賞 福島泰樹氏)

今年で4回目となる若山牧水賞(主催・若山牧水賞運営委員会・宮崎県・宮崎県教育委員会・宮崎日日新聞社・延岡市・東郷町で構成)の授賞式が2月8日、宮崎市の宮崎観光ホテルで行われ、歌集『茫漠山日誌』で受賞した福島泰樹氏(東京都台東区在住)に松形祐堯宮崎県知事から表彰状や副賞の百万円などが贈呈されました。



▲受賞歌集の「茫漠山日誌」

らもマイクロスコープ2台を貸し切るなど約80名がこの記念講演会に参加、福島氏の牧水や短歌にかける思いなど予定時間を超える講演に熱心に聞き入っていました。講演終了後には福島氏がこれまで800ステージをこなして

福島泰樹氏 プロフィール

歌人、東京都下谷の法昌寺住職。昭和18年東京都生まれ、早稲田大学文学部西洋哲学科卒業。
大学在学中に早稲田短歌会に入会、現在「月光の会」主宰。ブルガリア国際作家会議コンクール詩人賞、放送作家基金脚本賞などを受賞。

思い出の地… 東郷町を散策

記念講演会のあと福島氏は関係者と共に、若山牧水の生誕地である坪谷に移動、牧水公園内のコテージに宿泊しました。翌10日は、まず牧水が卒業した坪谷小学校を訪れました。ちょうど朝の登校時とかさなり、玄関前で子どもたちが牧水の歌を朗誦する姿を感慨深そうに眺めていました。

また、同校の子どもたちがつづいた短歌を読んで、「自然をそのままに表現し、韻律に歌ってほしい」と感想を話していました。

続いて訪れた牧水生家では、故高森文夫氏と5時間あまりも酒を酌み交わしながら、牧水や中原中也、短歌のことについて議論をしたときのことを懐かしそうに話していました。

その後、中原中也の未刊詩集中にある「材木」は、高森文夫氏と町内を散策中に生まれた詩(2月10日宮崎日日新聞:牧水紀行)で、その舞台となった羽坂の福田製材所や故高森文夫氏宅を訪問するなどして、在りし日の詩人中原中也、そして我が町の生んだ偉大な詩人高森文夫氏を偲んでいました。



▲高森秀さんと久しぶりの再会



▲牧水生家にて



▲牧水ヶ丘の歌碑前にて



▼記念講演会で披露した絶叫短歌

耳川流域8森林組合今年8月に 広域合併(1月24日予備契約に調印)

国内最大級の 森林組合誕生へ

耳川流域の8市町村(日向市・門川町・東郷町・南郷村・西郷村・北郷村・諸塚村・椎葉村)の森林組合が、経営基盤の強化をはかることなどを目的として、今年8月1日の合併を前に1月24日、本町議場において予備契約書に調印を行いました。



▲広域合併予備契約後に各組合長が握手

この予備調印式には、8市町村の森林組合長及び市町村長、議会議長、県の林業関係機関などの関係者ら約100名が出席、合併推進協議会会長の甲斐重勝諸塚村森林組合長のあいさつの後、8市町村の首長らの立ち会いで調印が行われました。

耳川広域森林組合(仮称)が誕生すれば、組合員所有森林面積や素材取扱量などで県下だけでなく、全国規模でも第1位となる見込みで、21世紀の林業を担う先駆的な森林組合としてその取り組みがおいに期待されています。

- ▽本所の所在地 東郷町
- ▽合併予定日 平成12年8月1日(火)
- ▽事業総収益 3,368,402千円(県下第1位)
- ▽組合員数 6,482人(県下第3位)
- ▽組合員所有森林面積 107,958ヘクタール(全国第1位)
- ▽常勤役員数 92名(全国第1位)
- ▽作業班員数 586名(全国第1位)
- ▽素材取扱量 126,010立法メートル(全国第1位)

また、合併後の新組合は本町内に事務所を置くことで準備が進められているとのこと。

第20回牧水ロードレース大会

表紙でも紹介しましたが、各種目ごとの結果は次のとおりです。

- ☆ファミリージョギング
 - 宣言タイム走・個人の部 2 km
 - 1位 竹井美則1秒差(日向市)、2位 稲田ちひろ3秒差、3位 浜辺大地4秒差
 - 宣言タイム走・親子の部 2 km
 - 1位 三浦映子・俊希11秒差、2位 菊池伸裕・裕一郎・純一郎17秒差、3位 赤木陽一・淳一28秒差
- ☆小学生3年男子の部 2 km
- 1位 興柁一馬7分55秒(日向市)、2位 安藤和宏8分14秒(門川町)、3位 黒木泰州8分22秒
- ☆小学生3年女子の部 2 km
- 1位 森崎聖奈8分15秒(綾町)、2位 瀬ノ口舞8分40秒(門川町)、3位 那須萌美8分53秒(日向市)
- ☆小学生4年男子の部 2 km
- 1位 黒木周平7分55秒、2位 橋口大地8分13秒(日向市)、3位 菊池建人8分13秒
- ☆小学生4年女子の部 2 km
- 1位 瀬之口かな8分23秒(門川町)、2位 木村かさね8分36秒(日向市)、3位 黒木優9分8秒
- ☆小学生5年男子の部 2 km
- 1位 黒木竜太7分47秒、2位 寺原翔太8分11秒(日向市)、3位 植野瞬8分17秒
- ☆小学生5年女子の部 2 km
- 1位 児玉直子7分48秒(日向市)、2位 柏田侑香7分57秒(日向市)、3位 中原いづみ8分12秒(日向市)
- ☆小学生6年男子の部 2 km
- 1位 黒住真也7分13秒(新富町)、2位 水尾慎吾7分26秒、3位 場崎寛之7分41秒(日向市)
- ☆小学生6年女子の部 2 km
- 1位 松岡亜矢7分02秒(日向市)、2位 那須安由子8分12秒(日向市)、3位 石田侑子8分50秒
- ☆中学生女子の部 3 km
- 1位 森崎わかな12分8秒(綾町)、2位 菊谷麻衣14分2秒、3位 甲斐華菜14分14秒
- ☆中学生男子の部 5 km
- 1位 森崎一志19分10秒(綾町)、2位 甲田隆幸19分40秒(西郷村)、3位 和田一馬19分58秒
- ☆一般女子の部 3 km(39歳以下)
- 1位 喜多林江理子16分6秒(延岡市)
- ☆一般女子の部 3 km(59歳以下)
- 1位 牧口美津枝15分6秒(延岡市)、2位 大鼓房江15分31秒(えびの市)、3位 塩月英子15分52秒
- ☆一般女子の部 3 km(60歳以上)
- 1位 福田ヨシ子15分38秒(小林市)
- ☆一般女子の部 5 km(39歳以下)
- 1位 鬼塚優子22分9秒(延岡市)、2位 都甲由喜美25分38秒
- ☆一般女子の部 5 km(40歳以上)
- 1位 黒木絹子22分28秒、2位 黒木喜美子26分26秒(日向市)
- ☆一般男子の部 5 km(29歳以下)
- 1位 鈴木聖司17分25秒(日向市)、2位 那須良丞21分21秒
- ☆一般男子の部 5 km(39歳以下)
- 1位 平川英司16分48秒(延岡市)、2位 岩崎俊彦17分23秒(延岡市)、3位 甲斐善行18分53秒(諸塚村)
- ☆一般男子の部 5 km(49歳以下)
- 1位 若本彰己19分28秒(日向市)、2位 村中栄一20分5秒(日向市)、3位 那須春喜21分20秒
- ☆一般男子の部 5 km(59歳以下)
- 1位 斉藤和洋18分14秒(小林市)、2位 平野英喜18分45秒(佐土原町)、3位 高牟礼義行19分38秒(延岡市)
- ☆一般男子の部 5 km(60歳以上)
- 1位 宮本東20分0秒(日向市)、2位 甲斐義人21分32秒(高千穂町)、3位 河野泰廣21分59秒(日向市)
- ☆一般男子の部 10 km
- 1位 飛高祐治36分23秒(都城市)、2位 岩田廣俊39分15秒(門川町)、3位 仲村康行39分28秒(宮崎市)

わが町の青年活動の現状

現在、町青年団員数は80名。時代の流れとともに青年団活動への関心も薄れ、若い人たちの青年団離れが深刻になってきています。歴史を振り返れば、明治40年(1907年)頃の若連中と称していた時代から、青年会、東郷村連合青年会と名前を変え、昭和23年(1948年)に一時、発展的解散(各地区ごと)にグループを作って結成)をしたものの、昭和25年4月に再び東郷村青年団協議会を結成して青年団本来の活動を開始、以来現在に至っています。そこで今月号では、この長い歴史を持つ青年団活動を何とか維持、発展させようとして活動が続いている町内の青年団員3人に「青年団活動の現状と今後の展望」についてそれぞれの立場での話を聞いてきましたので紹介します。

東郷町青年団協議会 会長 矢野貴之 (小野田)

東郷町青年団協議会会長になって1年が過ぎようとしていますが、結構楽しんで活動しています。数年前とするとイベント(ソフトボール大会、バレーボール大会)は減りましたが、そのぶん違ったイベントに取り組んでいます。9月には、東郷町社会福祉協議会主催ではありましたが、奉仕活動を通じて町内の青年団の交流を深めました。また、2月には東白杵郡内の青年(郡外からの参加もあった)と県内の国際交流員を集めて牧水公園で交流会を開催しました。

ただ残念なことは、いろいろなイベントの参加者が少ないことです。その理由としては、忙しいのはもちろんですが、青年団という何か堅苦しいイメージがあるからだと思います。それが青年団員減少のひとつだと思います。逆にうれしいこともあります。いろいろなイベントを開催するにあたって、役員が率先して地区の青年を巻き込んで活動してくれることです。現に1月に開催された東白杵郡青年駅伝大会では、青年会員数減少の中、早い時期に選手確保に取り組んだ甲斐もあり準優勝という輝かしい成績を収めました。なかなか人を動かすというのは難しいものです。



▲町青年会長の矢野貴之さん

今後の青年団の目標は、高校、大学等を卒業して地元に残っている人を青年団活動に誘い、リーダーとして育て、誰でも参加できるように努めたいです。イベントを企画していくこと。「なんかしちえみろかい」「刺激がほしい」という35歳未満の人は東郷町青年団協議会に入ってもらえませんか。しちえみろかい。

東白杵青年団協議会 事務局長 片江豊春 (坪谷)

青年団という組織(一種の特性を持つ集団)は、いったい何時頃歴史上に出たのだろうか? ちなみに本町青年団は、明治44年に村連合青年会として組織され、戦後昭和25年に村青年協議会を結成、現在に至っています。長い年月を経て脈々と続いているのです。

ところで、私が青年活動にふれたのは、昭和63年頃だったと思います。ちょうど坪谷で青年団が再結成されて数年しか経っていない頃に、意気盛んな自分自身の勢いも手伝って、反強制的に加入させられたのを覚えています。それから現在まで、彼らとの付き合いは続いており、年齢差を超えた深い交遊を暖めています。青年の一員である私の原点は、あの時の一杯のビールとめぐり合ったところにあるのです。しかし、私のケースのように青年団に入ることには少なくなっています。連帯感が希薄となり、個人の自由を尊重する傾向にあります。会員の減少の一因は、ここにもあると思います。世の中が多様化した上、プライバシー何某と言った問題も起こり、社会が本来持っている集団性とか仲間意識がなくなっているのが証拠でしょう。今後、青年団が存続していくには、何が必要なのでしょう?



▲郡青年事務局長 片江豊春さん

私が思うには、とりあえず自分の生まれ育った故郷を愛し、その地の中で自分の置かれた位置を認識し、何をすべきかを考えることです。地域に貢献という言葉は聞こえはいいですが、まずその気持ちを持って、ちっほけな行動を起こすことです。その行動の束が青年団であると思います。若者同士、みんなでハッピーになりましょう。

東白杵青年団協議会 会長 海野芳彦 (越表)

私は今、東白杵郡の青年団連絡協議会の会長をしています。今は、青年団の活動も、個人の行動範囲の広がりや交通手段の発達、職場の分散、交友関係の多様化などにより、縮小化、参加人数の減少等が叫ばれています。ですが、それは僕から言わせてもらえば、当たり前なんじゃないかなと思います。ちなみに宮崎県の青年団協議会という上部団体が宮崎の青島にあります。そこでの会議に出席する機会があるのですが、「団員が少なくなつた」とか「活動が盛んじゃなくなつた」なんて悩んだり、各青年団で集まってるんやんやん話して合っています。そんな議論も必要なのかなと考えたりしますが、これじゃ参加してくれる団員はもつとつまらなくなるんじゃないかと思ったりします。時代の移り変わりは止められないことの一つです、いつまでも昔の青年団じゃおかし。

こんなことを言うと、なんたなことか、消極的だとか、やる気のないとか言われるかもしれませんが、少なくとも僕の感想です。会長は今年で2年目ですが、会長と

いつも今はなかなか手がいないため、なろうと思えばすぐになれる。今はそんなものです。若者は今からの時代のリーダーだと思っている理解力のある方もいらつしやると思います。が、まずは、「今時の若い者は」「俺たちの若い頃は」「若者のやることは」なんて言われませんが、そんなに今の若者は頼りないのでしょうか。アリストテレスは「最近の若者はなっていない」と言つたそうです。古代エジプトの文字を解読してみたらそんな内容の記述があつたそうです。数千年前も現代も年寄りには若者に向かつて同じことを言うらしい。

1月30日に東白杵郡駅伝大会、2月5日に国際交流員郡内青年団との研修パーティー等を企画し駅伝大会では1町村を除くすべての町村が駅伝に参加、全チーム完走、東郷町は2位と大健闘でした。研修パーティーでは20人を超える国際交流員、郡内外の青年の参加があり総勢100名近くが集まり楽しい時間が過ごせました。

青年団は、消防団、婦人会、育成会、地域活動の基礎となるのだと思うのは僕だけでしょうか? 活動が地域の活力となると思うのですが。どうか青年団を温かく見守つ



▲東白杵青年団の会長を務める 海野芳彦さん(写真右)

てください、そしてあなたの家や隣の家に暇そうにしている若者がいましたらどうぞ青年団に参加するように声をかけてやってください。僕ももう青年とはあまり言えない年になりました、いつ「近頃の若者は」と言い出すかわかったものじゃありません。もうすぐ言い出す前の遺言に。

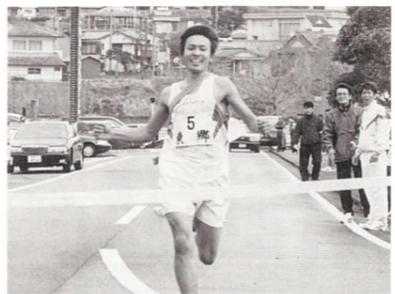
以上、青年団の第一線で活動している3人に率直なお話をさせていただきました。時代のニーズとのずれにとまどいながら、21世紀に向け何とか前向きに青年活動を展開している姿がとうとう印象的でした。今後の青年活動の飛躍を多いに期待したいものです。

今年も準優勝! ~東白杵郡青年団駅伝大会~

今年で42回目を迎える東白杵郡青年団駅伝大会が、牧水公園スタート~西郷村ニューホープセンターゴールの9区間(25.3km)に12チーム(オープン参加3チーム)が参加して行われました。本町は昨年、過去最高の2位に入り、今年こそ悲願の初優勝めざして早い段階から練習に取り組み大会に臨みました。

レースは前半から連覇をねらう門川町が飛び出し、本町も3区で2位に順位を上げて一時はトップとの差を1分近くまで詰めるなど、昨年のタイムを上回る結果を出しましたが、今年も門川町にあと一歩及ばず2位に終わりました。結果は次のとおりです。

(全体成績)			(個人成績)				
順位	町村名	タイム	区間	選手名	距離	タイム	区間順位
第1位	門川町	1時間32分47秒	1区	黒木紀美代(寺迫)	1.3	6分 3秒	3位
第2位	東郷町	1時間35分4 秒	2区	菊池大輔(鶴野内)	2.7	10分 2秒	4位
第3位	北方町	1時間39分26秒	3区	水野 歩(仲深)	3.3	11分58秒	3位
第4位	諸塚村	1時間40分28秒	4区	三浦岳史(坪谷)	1.8	6分49秒	3位
第5位	西郷村	1時間40分57秒	5区	海野道明(越表)	3.6	12分32秒	2位
第6位	椎葉村	1時間41分47秒	6区	海野達也(坪谷)	4.2	14分55秒	3位
第7位	北川町	1時間51分45秒	7区	井伊史彦(坪谷)	3.6	12分40秒	2位
第8位	北浦町	2時間 1分54秒	8区	那須良丞(羽坂)	2.7	11分57秒	7位
第9位	南郷村	2時間 4分17秒	9区	古川道広(鶴野内)	2.1	8分 8秒	1位



▲区間賞の走りで行き上げたアンカーの古川道広さん

新有権者意見発表大会

1月19日(水) ～決意も新たに～

延岡市のカルチャープラザのおおかで開催された、平成12年東臼杵支会新有権者意見発表大会に本町代表として、今年成人式を迎えた羽坂の寺原昌伸さん(20歳)が出場しました。

寺原昌伸さんは「有権者として」と題して、現在の自分の仕事に対する思い、そして将来の夢などを約7分間にわたって発表しました。

厳粛な雰囲気の中、終始堂々とした態度で発表し、会場に訪れた観衆から盛んな拍手が送られていました。

臼杵地区新有権者



1月21日(金) 竹馬づくりに挑戦

鶴野内保育園では、園児と鶴野内地区のふれあいサロン及び老人会(会長 那須幸雄さん)がこのほど交流会を行いました。

午前中はおゆうぎ会を開催、園児たちが日頃練習したおゆうぎや歌、ハンドベルの演奏などを披露、大きな拍手を受けていました。

そして午後は、おじいちゃんたちと竹馬づくりに挑戦。さすがに工具は使いこなせず、おじいちゃんたちの手さばきをじっと食い入るように見つめていました。竹馬ができるとわれ先に乗ろうと挑戦しましたが、なかなか思うようにはいかず、おじいちゃんたちから手取り足取り指導を受けていました。

この日は北風の吹く寒い一日でしたが、保育園内はそんな寒さを感じさせない元気な子どもたちの声が響きわたっていました。



1月27日(休) 子どもの声を聞く会

第3回『子どもの声を聞く会』が、今年から会場を町総合文化センターホールに移して開催されました。会ではまず、善行児童・生徒及び団体の表彰が行われ、各方面で功績のあった個人の部5名、団体の部2団体の表彰が行われました。

続いて行われた意見発表の部には、各小中学校の代表10人(小学生7人・中学生3人)が出場、あらかじめ与えられた『私の夢』『こんな町にしたい』など、7つのテーマの中からそれぞれが選んだテーマに従い発表を行いました。

21世紀を担う子どもたちの『声』を聞こうと会場には約250人が訪れていましたが、子どもたちの斬新な発想や素晴らしい発表態度にとても感心していた様子でした。



短歌 尾鈴短歌会

コンピュータの誤作動もなく
二千年明けゆく初日尾根に輝く
進みゆく時の流れか懐かしき
餅搗く音も絶えて久しき
三浦園男
変動の世を生きつぎて誤作動を
恐れつつ二千年の夜明けを迎ふ
佐藤鈴子
濡り持つ畑隅の土に広がる
仏の座は蓄はぐくむ
寺原八重子
初春にすがしき雨の降り始めて
畑の若菜のみどり勢ふ
黒木ヒサ
吾が生の卒論はまだまだ未完にて
迷ひ迷ひて日々を生きゆく
岩木幸美
七十年生きて迎へし年の暮れの
輝く夕日に残る
岩木富子
久方に帰り来し娘と床並べ
寝ぬるを見れば亡き夫に似る
佐藤キヌ子
要介護四と認定されし妻吾は
財政の行方を危惧する
本多茂雄
雨のひと部屋の片付けに過こしつ
満州の写真幾枚か出づ
高森秀
根子缶を仰ぎ見つついて吾は
異国に来る思ひの湧きぬ
小山貞代
先生と友らと和む忘年会
過ぎゆく年に悔い残る亡し
木村富貴子
正月を帰ることなき孫子らの
幸祈るうぶすなの宮に
東村吉市
二度三度妻の時きたる白菜は
巻き固くして霜の覆へぬ
木村秋男
血圧も糖も数値に異常なく
新しき年に心の勢ふ
高野美智雄

農業×夢＝認定農業者 26



今月は田野の田中保雄さんにお話を伺いました。

○現況と今後の経営

現在は、プロイラーを中心として水稲との複合経営を行っています。また、町の機械銀行に所属し農作業を受託するオペレーターとして活動しています。経営規模については、プロイラー三棟と水稲一三〇アールを妻と二人で飼育・栽培しています。

昭和54年から本格的に農業へ取り組んできましたが、常に仲間との交流や情報交換等の中で技術を磨きながら現在に至っています。始めた当時は飼育技術や知識が無く苦労をしましたが、台風の襲来、トリの改良によりもめられる高度な飼育技術の体得などの不安と同時に、経営への不安もありましたが、何とかこれまでやってこれてきました。

トリの観察はもとより自分の努力次第で経営が良くなること、これが今まで継続できた要因だと考えています。今後は現在の規模を維持しながら、他の作目にも色々挑戦して

みたいと考えています。更に、後継者として息子がおりますが、一緒に農業をすることができたら、農業にやり甲斐も出ると思っております。

農業経営改善支援センター 専任職員の一瞥

腕に自信を持ち、各地で家を建築するなど十四年間大工として働いてきましたが、自分の家で何か出来ないかと始めたのがプロイラー経営でした。

昭和五十四年から取り組みはじめ、年間一二七千羽を出荷している田中保雄さんです。

現在の経営はプロイラー三棟と水稲一三〇アールの複合経営ですが、以前は水田の耕起・田植え・収穫作業を七〇〇アール程度の受託作業をしていたと、当時の思い出を懐かしそうに話してくれました。

現在も機械銀行の会員で仲間と一緒を受託作業に取り組んでいます。プロイラーを始めた当時は、飼育技術も無く会社の技術員の指導を受けていましたが、その技術員も現場での実務の無い技

術員であったため、成績も上からず苦労が多かったと話され、その後は仲間同志で勉強し、また互いの情報等で飼育技術向上を図り、現在はトリの発育状況を見れば、そのトリの状態がわかる高い技術を身に付けておられます。生き物は能書きどおりにはいかない。そのときの環境で常に変化する、その見定めが肝心であると、自信に満ちた言葉で話されました。

奥さんの小代子さんも同時に飼育に携わり、よい意味で喧嘩もし、議論もしたと笑顔で話される顔には、互いの信頼感を伺うことができました。

家族は子供四人を含めて八人で、後継者の長男は園芸関係の仕事に就いているとのこと。

保雄さんの夢は、子供が後を継いで一緒に農業をやること、奥さんとは聞くことと同じです。即答の言葉が返り、夫婦同じ思いを持ち頑張っていることに感心しました。自然を相手にやる農業は、それに立ち向かう勇氣と、その自然の諸条件を如何に自分のものにするか工夫してこそ楽しみのある農業経営があると思います。保雄さんの昔のきねづか(大工)が役立ち、二人の情熱で夢も実現できると思

いながら、鶏舎を後にしました。

畜産だより

1月期子牛セリ市の本町からの出荷の結果、及び最高額をお知らせします。

東臼杵セリ市(1月期) 46頭
雌平均 414、633円
去勢平均 426、338円
合計平均 421、758円
最高額「雌の部」
鶴野内 伊東健児 だいにち34号
血統 福桜・糸秀・糸晴
338日令 350kg
1、006、950円

「去勢の部」
田野 那須楠男 鯉太号
血統 安平・糸晴・糸波
291日令 345kg
552、300円

児湯郡セリ市(1月期) 14頭
雌平均 420、175円
去勢平均 487、593円
合計平均 458、700円
最高額「雌の部」
庭田 黒木サキ子 みきこひめ号
血統 安平・誠隆・糸弘2
331日令 348kg
525、000円

「去勢の部」
庭田 黒木慶喜 慶平号
血統 安平・糸秀・隆美
275日令 283kg
631、050円

図書利用カードの申し込み受付が開始されます

現在、鶴野内の道の駅「とうごう」の一角に建設中の東郷町交流研修施設には、図書室が開設されます。この図書室は、管理をコンピュータ化することにより、利用者の利便性を向上させることにしています。また、この図書室では本を貸し出すとき「利用者カード」が必要になります。開館当初は、混雑が予想されますので、開館前にカードを作成し利用者の皆さんが、最初に本を借りる際に配布することになっています。

つきましては、保育園児、幼稚園児、小学生、中学生（3年生を除く）以外でカードの作成を希望される方は、次の方法で手続きをしてください。

なお、開館後も随時、交流研修施設で「図書利用者カード」の作成は行いますが、カード交付には時間がかかりますのでご注意ください。

- ◆申込期間 平成12年2月25日(金)～3月13日(月)
- ◆申込先 東郷町教育委員会
- ◆申込方法 「図書利用カード申込書」を教育委員会に準備しておりますので、教育委員会までお申し出下さい。

第12回県北移動美術展が次の日程で開催されます。本町からも3人の方が出品していますので、是非ご鑑賞下さい。

- ・3月11日～14日 北浦町中央公民館
- ・3月18日～20日 延岡総合文化センター
- ・3月25日～26日 西郷村ニューホープセンター

瀬瀬走る やまめうぐいの うろくずの 美しき春の 山ざくら花 宮崎県東臼杵郡南部農業改良普及センター(道の駅「とうごう」の一角に建設)にある歌碑で、平成十一年三月に建立されています。

この歌は「山ざくら」と題して「三月より四月初めにかけ天城山の北麓なる湯ヶ島温泉に遊ぶ。付近の溪より山に山桜甚だ多し、日毎に詠みいでたるを此々にまとめつ。」と前書きのある連作二十三首の中の一詩で、第十四歌集「山ざくらの花」に収

表紙「牧水のうたの解説

められています。歌は、「やまめうぐい(イダ)などの魚が美しい色を帯びる春(産卵期の春には腹部の色が特に鮮やかになってくる)に咲く山ざくら花の美しいことよ」という意味で、直接に山桜を讚える言葉ではありませんが、やまめうぐい(イダ)の美しさでもって山ざくらの花の美しさを詠んでいます。

牧水は山ざくらの花が好きで、花の咲く頃になると毎年湯ヶ島に行ったと言われており、湯ヶ島の桜は坪谷の桜であり、「瀬瀬走るやまめうぐいは」



都甲欣一 は坪谷川のやまめ、うぐいであると言っている研究家もいます。牧水は、酒の歌人として親しまれていますが、山桜の花を好み、有名な山ざくらの歌もあることから「桜の歌人」としても知られています。(東郷町内歌碑めぐり)

介護保険制度解説 ⑭

介護予防・生活支援のためのサービス

介護保険では高齢者が、できる限り寝たきりなどの要介護状態に陥ったり、状態がさらに悪化することがないようにすること(介護予防)や、自立した生活を確保するために必要な支援を行うこと(生活支援)が重要な課題となっています。

東郷町でも、要介護認定で制度の対象外となる高齢者をはじめとする在宅の高齢者に対して、介護保険のサービスとは別に、下記のようなサービスを4月から予定しています。

- ◎配食サービス

ひとり暮らしや虚弱な方などが、食事の調理が困難な場合に、ご自宅に食事をお運びするサービスです。週1回昼食を予定しています。
- ◎軽度生活支援事業

ひとり暮らしや虚弱な方などが、在宅で自立した生活が続けられるよう、また要介護への進行を防止するため、軽易な日常生活の援助を行うサービスです。

(具体的なサービスの例)

 - 外出の援助 (例：外出、散歩の付き添い等)
 - 食事・食材の確保 (例：宅配の手配、食材の買い物等)
 - 掃除・洗濯
 - その他
- ◎生きがい活動通所支援

東郷町デイサービスセンターで実施。同じ地区の方々との趣味活動(生きがいづくり)、食事、入浴、ゲームなどを行います。送迎付きです。

※お問い合わせ先 やすらぎ館(TEL 69-3367)

街の話題



東郷中学校で立志式

今年で20回目となる平成11年度の立志式が東郷中学校で2月7日(月)に行われました。今年立志式を迎えたのは同校の2年生44名。

式ではまず、河野充校長先生が「最上級生である3年生になる前のこの立志式を機会に、自分を見つめ、将来の目標を確立し、来るべき21世紀をたくましく生き抜くための基礎をつくる努力をしていくことを心から願っています」と話をしました。

続いて都甲欣一教育長、山田重男PTA会長の祝辞の後、2年生全員が立志の証を発表、それぞれの決意を誓っていました。

ちびっこギャラリー

☆☆ 山陰保育園 ☆☆☆

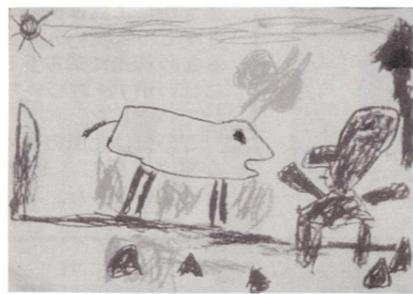


仲深 下仲瀬の 那須 翔くん(6歳)
父：那須春夫さん 厚子さん

- 好きな食べ物は何か? ハンバーグ
- 好きな遊びは何か? こおり鬼
- 大きくなったら何になりたいですか? 消防士



▲ぐるんぱの幼稚園



▲「3びきやぎのからからどん」を読んで



福瀬 中野原一の 直野 豪士くん(6歳)
父：直野吉範さん 母：里美さん

- 好きな食べ物は何か? カレーライス
- 好きな遊びは何か? こおり鬼
- 大きくなったら何になりたいですか? プロゴルファー

駐在所だより

チャイルドシートの使用義務化

平成十二年四月一日施行

道路交通法の改正により自動車の運転者は、幼児用補助装置(保安基準に適合したチャイルドシート)を使用しない幼児を乗車させて自動車を運転してはならない。と規定され、平成十二年四月一日から施行されます。

○なぜ、チャイルドシート。
・自動車乗車中の死傷者数が、平成十年は平成六年に比べて12%増加しているのに対し、幼児の自動車乗車中の死傷者数は、52%と大幅に増加している。
・チャイルドシートを使用していなかった場合の致死率は、使用していた場合の四倍以上。
・抱っこで支えきるのは、時速5〜7キロメートルが限度。急停車した時、これ以上の速度になると力一杯抱きとめようとしても、腕をすり抜け赤ちゃんは飛び出してしまいます。
大人にシートベルトがあるように、子どもにはチャイルド

シートが必要です。○正しく取り付けましょう。チャイルドシートは、単に車に取り付けた子どものイスではありません。「義務化され、しようがないから付ける」のではなく、万一の事故に備え子どもを守るため必要なものです。取扱説明書をよく見て固定金具等も正しく使しましょう。○こんな時は…孫が盆、正月に遊びに来るが、一〜二回乗せるのに購入しなければならぬか。レンタル店の利用、各地区交通安全協会等での無料貸出制度の利用ができます。○一部使用義務が免除される場合もあります。○使用義務違反の反則点数は1点です。



お知らせ インフォメーション

町臨時職員募集

町の臨時職員を次のとおり募集します。

- ▽勤務地 役場及び各出先機関
- ▽職種 事務・看護婦・用務員・調理員・保母等
- ▽学歴 問いません
- ▽期間 平成12年4月1日～
- ▽申込方法 役場総務課に履歴書を提出してください。
- ▽申込期限 平成12年3月15日
- ▽条件 2ヶ月以上勤務することとなった場合、現在の健康保険等を脱退して新たに加入できる方。

※詳しくは役場総務課までお問い合わせ下さい。

奨学生募集

平成12年度の奨学生を募集します。

- ▽申込資格 町内に本籍を有する者、または、町内に引き続き5年以上在住し、現に居住する者で高等学校、高等専門学校及び大学に在学している者。またこれから学校に進学する者。
- ▽貸与申込 申込用紙が、教育委員会事務局に準備してありますので、新しく申し込む方も、継続して利用される方も在学証明書を必ず

添えて申し込み下さい。
▽貸与額
高校生 月額 2万円
大学生 月額 3万円
▽申込締切日 平成12年4月20日(木)
▽貸与決定 5月中旬までに各保護者宛に通知します。
※詳しいことは教育委員会総務係までお問い合わせ下さい。

町営住宅中野原団地入居者募集

- ▽募集戸数 4戸
- ▽募集期間 3月1日～3月24日
- ▽入居資格 現に同居し、又は同居しようとする親族がある者で政令月収が20万円以下の者
- ▽応募方法 所定の申込用紙に入居を希望する者の所得証明書又は源泉徴収票の写し(平成10年分)及び家族構成を証する保険証等の写しを添付。
- ▽住宅使用料 所得に応じて、20,800円～60,400円
- ▽入居の時期 3月末頃
- ▽選考方法 募集戸数を超える場合は、抽選及び公平な方法で選考
- ▽申込用紙 建設課においてあります。

※お問い合わせは、建設課(☎69-3906)までご連絡下さい。

離農給付金支給事業が平成12年5月15日で終了

離農給付金制度とは
離農者に対して、離農に際し一時金として、離農給付金が支給されます。
この制度の目的は、農業をやめようとする方の経営移譲を援助、促進するとともにその農地等を他の専門的農業者の経営規模拡大に役立てることにあります。

離農給付金の受給を希望する方は、基準日に自作地を30アール以上所有している20歳以上、60歳未満の農業経営者であること等の要件があり、また、処分の相手方についても、個人の場合は、60歳未満の農業者年金の加入者であること等要件が定められています。
離農給付金の受給を希望する方は、平成12年3月31日までに農業委員会へ申請してください。
不明な点は、農業委員会までお問い合わせ下さい。
☎69-3910(直通)

春期全国火災予防運動

火災が発生しやすい気候となる時期を迎えるにあたり、今年も3月1日から7日までの7日間、春期火災予防運動が実施されます。
重点目標は
・住宅防火対策の推進
・地域における防火安全体制の充実
・特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
・林野火災予防対策の徹底
・乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
などとなっています。
例年、本町でもこの季節になると林野火災等の発生する確率が非常に高くなります。火入れ等を行う場合は、必ず届け出を行い、火入れを行う上での取り決め事項を必ず守るようにしましょう。

心配ごと相談

▽日時 3月21日(火)9時～15時
▽場所 林業研修館

国民健康保険税 随時



善意の灯

忌明けとして、次の方から町社会福祉協議会へ社会福祉のための善意が寄せられました。厚くお礼申し上げます。

戸籍だよ

(1月届出分)
出生 おめでと
赤ちゃんの氏名 保護者名 住所
安藤 輝 雅喜 寺迫

結婚 お幸せに
氏名 住所
黒木 均志 迫野内
松下 知代 日向市

死亡 ご冥福を祈ります
氏名 年齢 住所
高木 元秋 71歳 寺迫
木村 フミ子 87歳 迫野内
小林 久美子 58歳 羽坂
谷岡 明 65歳 越表
小川 勇夫 94歳 田野
関野 文昭 20歳 福瀬
小泉 ハナ子 83歳 迫野内
寺田 タミ 95歳 小野田
谷口 ケサエ 91歳 鶴野内